

2025年普及委員会・冬山講習 part1 日勝峠付近

普及委員長 西嶋克己

2025年2月8・9日

参加者 8名(札幌山の会 2名・ロビニア山岳会 1名・斜里山岳会 1名・
山道会 1名・個人会員 1名・一般2名)

スタッフ 2名(西嶋・明田)

1日目 日勝ピーク付近

2日目 熊見山付近

今週の初めに帯広で1mを超える大雪が降り直ぐ近くの日高地方はどんな状態か全く
情報がない中集合場所に向けて車を走らせる

日勝峠近くなっても多くの雪は無く普段と変わり無い状態

峠に着いて一安心我々の想定を超える状態と成らず良かったのだが風が強く予定の直接
日勝ピークを目指さず風を避け樹林帯を進みピークを目指した

ラッセルの深さは30cm程帰りの滑りに期待が高まる

森林限界を超えて上ったが矢張り風が付いてピーク手前150mの1300mで撤退

帰りは想定通り最高のパウダーを滑り無事登山口に戻った

翌日は熊見山方面

雪の状態は昨日体験済で問題は無い本日も風が付いて山頂を望めそうも無い

本日はラッセルが有りそれを使わせて貰ったがそれが災い沢を渡る所でスノーシューの
跡でスキーでは登れ無い急登り迂回をする内にコースは外れ

熊見山を経由せずに1327.9ピークを目標にする しかし本日も昨日同様に森林限
界を超えると風が付き撤退雪質は良かったが吹き溜まり有り

滑りは少し難儀した

予定より少し早めだが皆無事下山し終了

参加者の感想文 T・Tさん

この度、冬山講習会 part 1 に参加させていただきました。

この日の直前に帯広で1 m を超える雪が降り、今回の講習会の場所もその近くだったため同様に大雪だったのかなと心配しましたが、予想ほどの大雪ではなかった様子でした。駐車場にも問題なく駐車でき、予定通りに講習会が開催されましたが、少し雪まじりで風が強い状況でした。

はじめに講師から山行計画の説明があり、風が強いので、ピークへの直登はせず、樹林帯で風を避けながらピークを目指すとのことでお話で参加者一同納得をしました。

講師から地図のない受講生には地図を配っていただき、講師を先頭にスタートしました。

登りながら、初心者には、講師がキックターンの仕方などをレクチャーしながら、樹林帯の中を講師がルーファイしながら、ゆっくりと少しずつ進みました。

森林限界を越えると予想通りの雪まじりの風が強く、講師の判断で、ピークの手前から滑ることになりました。

これについても一同納得をしました。今回の現地での自然条件による適切な判断はとても勉強になると感じました。さて、いよいよパフパウのパウダーですが、この浮遊感はとても気持ちの良いものでした。

そんな斜面もあっという間に終わり、また、講師のルーファイに頼りながら、駐車場まで降りてきて、フーッとひといきつきました。

その後、宿泊先の日高青少年の家に行きましたが、食事の後の懇親会では参加の皆様と和気藹々と楽しい時間を過ごさせていただきました。

翌日は、熊見山経由の某熊見山方面でしたが、昨日と同様に風が強く、講師のルーファイで風を避け熊見山を経由しないで、某熊見山方向へ、講師の指示からのポイントから滑りました。

その後駐車場までついて、また、昨日同様にひといきつきました。

私のような山スキー初心者にとって、まずは滑れることが必須条件ですが、それ以上に登るルート、滑るルートのルーファイが本当に大事だと感じました。

今回の冬山講習会では、普段、冬山登山では感じない山スキーのルーファイの難しさを感じ、改めて、冬山に再認識をさせていただきました。講師の皆様、ありがとうございました。

